



Information

『-Nikon Presents- Vertical Movie Award 2022』の受賞作品を発表

-「新しい挑戦」をテーマに作品を募集した縦型動画アワードのグランプリが決定-

2022年2月28日

株式会社ニコンイメージングジャパン(社長:北端 秀行、東京都港区、以下「NIJ」)は、株式会社 Vook(ヴック)(代表取締役 CEO:岡本 俊太郎、東京都渋谷区)が運営する日本最大級の映像制作 Tips サイト「Vook」と開催した、縦型動画の“代名詞”となる映像作品を決めるアワード『-Nikon Presents- Vertical Movie Award 2022』の受賞作品を発表しました。

URL: <https://vook.vc/c/nikon-vertical-movie-award/>



『-Nikon Presents- Vertical Movie Award 2022』は、今後、ますます需要が高まり、ニュースタANDARDになり得る縦型動画に挑戦する映像クリエイターを応援するため開催した縦型動画アワードです。「新しい挑戦」をテーマに作品を募集し、厳正なる審査の上ノミネート作品に選ばれた 20 作品の中から、グランプリおよび各賞の作品が選出されました。

グランプリには、森下 大氏の「Develop」が選ばれ、賞品として「Z 9」「NIKKOR Z 24-70mm f/2.8 S」および賞金 50 万円が贈呈されます。

なお、『-Nikon Presents- Vertical Movie Award 2022』でグランプリおよびニコン賞に選ばれた作品は、ニコンプラザ東京・大阪の写真展会場「THE GALLERY」にて 2022 年 3 月 8 日から開催される写真・映像展「Experience Fun in Nikon Plaza! 新しい世界に、出逢おう。」で上映を予定しています。

https://www.nikon-image.com/activity/exhibition/thegallery/events/2022/20220308_tgt.html

■受賞者および受賞作品

グランプリ 森下 大氏 「Develop」

賞品: ニコン Z 9 + NIKKOR Z 24-70mm f/2.8 S、賞金 50 万円



受賞者コメント:

この度は、ニコンバーティカルムービーアワードを開催して下さった株式会社ニコンイメージングジャパン様、株式会社 Vook 様、並びに協賛企業様、審査員関係者の方々、誠にありがとうございました。

何より、このような意義のあるコンペティションに参加できたことを嬉しく思います。

私を含め、多くの方が縦型の構図に苦戦したのではないのでしょうか？(笑)

今回は F3、FM2 といった名機を開発されてきた Nikon さんならではのAwardであり、「なぜ縦構図なのか」「なぜ Nikon なのか」ということをいかに映像に落とし込めるかが大きなポイントだと感じました。

実際私も、試行錯誤しましたが、やはり縦構図は難しい、、、まだ分からないことだらけなので、また縦型の映像にチャレンジしたいと考えています。

関係者の皆様、Awardを盛り上げてくださった参加者の皆様、改めて、本当にありがとうございました。

【選評: 審査員】

Shuntaro 氏:

まず、ノミネートされた作品はどの作品もとても素敵なものが多く、特色が出ているものばかりで、観ていてとても楽しかったです。その中でも、グランプリの「Develop」は構成も映像も非常に秀逸で、素晴らしい作品でした。また、途中で「あ、そういうことか！」という驚きがあり、それがテーマである「挑戦」に結びついて心奪われた点が、他の作品より一歩抜きん出ているな、と思っています。写真を主体としてきた人間として、「ポートレートを撮る意味」も考えさせられる作品でした。本当に素晴らしかったです。グランプリ、おめでとうございます！

石坂 拓郎氏:

見事に縦型映像ポートレート作品として成立していました。一つの新しいジャンルを見せてもらった気がします。謎解きの構成で少しずつ主人公の謎が解けていく感じが好きでした。ノスタルジックな色味もしっかりと考えられていて、種明かしまで興味をそられました。撮影も時に家族が撮っているような、記録的な印象もあり、現像などの工程で暴かれていく仕組みも楽しめました。

またさまざまな人物の人生をこういった形で見てみたいと思えました。

おめでとうございます。

優秀賞&LINE NEWS VISION 賞
yutaka 氏 「original」



【選評:LINE NEWS VISION 制作チーム】

クリエイター自身の世界観が映像に凝縮されているだけでなく、約 1 分という短尺ながら、リメイクカスタムアーティスト・kenya さんのモノづくりへの想いがヒシヒシと伝わってきました。最後に映し出された笑顔からは、kenya さんの人柄も感じられます。

また、音楽と映像が気持ちよくシンクしており、縦型に映える構図を意識しながら時折挿入される横型の映像が良いアクセントになっていると思います。質感、アングル、画角・・・随所からクリエイターのセンスの良さが読み取れる作品でした。

審査員賞(3名)

・島田 龍氏 「My Journey」 ・いちはら 悠氏 「Blue Moment」 ・井上 卓郎氏 「VERTICAL LINE」



ニコン賞
鳥海 佳希氏 「Find my way」



アドビ賞
Yusuke Yamasaki 氏
「Reason for challenge」



ゼンハイザージャパン賞
遠藤 溪太氏 「2021」



受賞作品および選評は下記ウェブサイトからご覧いただけます。

受賞作品: <https://vook.vc/c/nikon-vertical-movie-award/>

選評: <https://www.nikon-image.com/news/info/2022/0228.html>

『Z to Go -Creators in the field-』とは

NIJ と Vook で実施している「写真」と「映像」の表現の幅を広げる Nikon Z シリーズの魅力伝えるプロジェクトです。映像クリエイターへのさまざまな支援を通して Nikon Z シリーズの魅力と共に、映像クリエイターが作品を作りたくなるコンテンツを公開しています。

URL: <https://vook.vc/p/nikon-z>

この件に関する問い合わせ先

株式会社ニコンイメージングジャパン 広報宣伝部
108-6290 東京都港区港南 2-15-3 品川インターシティ C 棟

株式会社ニコンイメージングジャパン PR 事務局

ビルコム株式会社 担当: 高田・善本・平

TEL: 03-5413-2411 / FAX: 03-5413-2412 / Mail: nikon-press@bil.jp

馬橋・安藤
03-6718-3016

本プレスリリースに掲載されている情報は、発表日現在の情報です。